

茨城県陶芸美術館 企画展

麗しのマイセン

The Meissen lovely figurines

プレス・リリース

平成 26 年 4 月 26 日（土）－ 7 月 13 日（日）



究極
かわ
い
い。
。

（キャッチコピー）

〈庭師の少年少女〉
マイセン磁器製作所
19 世紀後半 岐阜県現代陶芸美術館

茨城県陶芸美術館

〒 309-1611 茨城県笠間市笠間 2345 番地（笠間芸術の森公園内）

TEL 0296-70-0011 / FAX 0296-70-0012

<http://www.tougei.museum.ibk.ed.jp/>

1 展覧会名

企画展

麗しのマイセン

2 開催趣旨

A：一言でいうと（65文字）

岐阜県現代陶芸美術館が所蔵する小早川コレクション約 100 点を展示し、19 世紀のマイセン人形とディナーセットによる優雅な世界を紹介。

B：もう少しでいいにいうと（143文字）

ヨーロッパで初めて硬質磁器の焼成に成功したドイツのマイセン磁器製作所。その質の高さと緻密な造形は、王侯貴族たちを魅了してきました。本展では、岐阜県現代陶芸美術館の小早川コレクション約 100 点を展示し、愛らしく表情豊かな 19 世紀のマイセン人形とディナーセットによる優雅な世界を紹介します。

C：詳細にいうと（635文字）

ヨーロッパで初めて硬質磁器の焼成に成功したドイツのマイセン磁器製作所は、1710 年の創業より 300 年を超える歴史の中で、食器はもとより数多くの魅力的な作品を生み出してきました。なかでも人物をかたどったフィギュリン(彫像)は、絵師としてマイセンの絵付を完成させたヨハン・グレゴリウス・ヘホルトや、優れた彫刻家で原型制作師のヨハン・ヨアヒム・ケンドラーらの登場により、ヨーロッパにおける磁器彫像（人形）製作の先駆的な存在となりました。それらは、プロイセンのフリードリヒ大王やロシアのエカテリーナ二世をはじめとするヨーロッパの王侯貴族たちを魅了し、製作所には注文が殺到するようになります。権力者たちの特別な発注は、技術力や芸術性の向上に寄与することとなり、マイセンは、ヨーロッパにおける磁器製造のパイオニアとしてその名を広くとどろかせ、他窯にも多大な影響を与えていきました。

本展は、小早川春信氏より岐阜県現代陶芸美術館蔵館に寄贈された 19 世紀のマイセン人形を中心とする約 100 点のコレクションによって、その魅力に迫ろうとするものです。19 世紀のマイセン磁器製作所は、過去の様式を復刻したため、当時つくられた人形はマイセンを代表する彫像家が活躍した黄金期の雰囲気を湛え、なおかつ 19 世紀ならではの明るく鮮やかな色彩が特徴です。様々な寓意を秘めた男女の語らいや、あどけない子供をかたどった人形たち、そして豪華なディナーセットなど、その優雅で愛らしい世界をお楽しみください。

3 展示構成

出品総数 約 100 点

※会場の都合により、若干点数が変わることがございます。予めご了承下さい。

第1章 ケンドラーとマイセン・フィギュリン

第2章 女帝エカテリーナも魅了したマイセン磁器

第3章 パリの風 アシエとシェーンハイトの時代

第4章 マイセン磁器への憧憬

第5章 マイセン カップ&ソーサーの世界

第6章 19 世紀の新たな創作

4 主な作品 （すべてマイセン磁器製作所・岐阜県現代陶芸美術館蔵）

〈花飾ポプリ壺「科学」〉1895 年頃

〈庭師の少年少女〉19 世紀後半

〈魚籠形壺「水の寓意」〉19 世紀後半

〈山羊に乗る仕立て屋〉19 世紀後半

〈貼花鳥飾蓋付壺〉19 世紀後半

5 会期・会場等

会 期：平成26年4月26日(土)～7月13日(日) (69日間)

会 場：茨城県陶芸美術館 地階企画展示室

開館時間：午前9時30分から午後5時まで(入館は午後4時30分まで)

休 館 日：月曜日(ただし、祝日の場合は開館、翌平日休館4月28日(月)は開館)

6 主催・後援・助成等

主催：茨城県陶芸美術館

後援：笠間市／朝日新聞水戸総局／茨城新聞社／NHK 水戸放送局／産経新聞社水戸支局／毎日新聞水戸支局／読売新聞水戸支局(予定)

協力：岐阜県現代陶芸美術館

7 観覧料

一般 720(570)円 高大生 510(410)円 小中生 260(210)円

* () 内は20名以上の団体料金。満70歳以上の方、障害者手帳、療育手帳をお持ちの方及び付き添いの方[ただし1人につき1人まで]は無料。土曜日は高校生以下無料。

8 関連催事 *詳細は後日、チラシやホームページ等にてお知らせします。

○美術講演会「マイセン磁器製作所と万国博覧会」

平成26年5月18日(日) 午後1時30分～ 当館1階多目的ホール(聴講無料)

講 師：山口 敦子氏(岐阜県現代陶芸美術館)

定 員：120名(先着順・当日整理券を発行)

○ワークショップ ※企画展チケットが必要です。

「麗しのヨーロピアン絵付」

平成26年5月24日(土)

10:00～15:00(12:00～13:00 昼休憩)

講 師：マリア テレサ ルーディ 横田氏(エコール ド マリア テレサ ヨーロピアン磁器彩画教室主宰)

定 員：15名(中学生以上対象)

参加費：3000円(材料代・焼成代・送付代含む)

申込方法：電話またはFAXにて事前申込(先着順)

Tel 0296-70-0011 / FAX0296-70-0012

申込開始日：4月22日(火)9:30～

○ギャラリートーク ※企画展チケットが必要です。

担当学芸員が展覧会をご案内。

平成26年6月21日(土)・7月5日(土) 午後1時30分から

9 連絡先

茨城県陶芸美術館 〒309-1611 笠間市笠間 2345 番地(笠間芸術の森公園内)

TEL.0296-70-0011 / FAX.0296-70-0012

展覧会担当 学芸課 副主任学芸員 花井 久穂 hanai.hisaho@mail.ibk.ed.jp

広報担当 企画管理課 主任学芸主事 中島 淳 kouhou@tougei.museum.ibk.ed.jp

写真を掲載する際には，作品キャプションを併記してください。
(※すべてマイセン磁器製作所・岐阜県現代陶芸美術館蔵と記してください。)



〈魚籠形壺「水の寓意」〉
19 世紀後半



〈貼花鳥飾蓋付壺〉
19 世紀後半

〈花飾ポプリ壺「科学」〉 1895 年頃



〈羊飼の休息〉 19 世紀後半



〈羊飼〉 19 世紀後半



〈山羊に乗る仕立て屋〉
19 世紀後半



〈ループを持つ少年〉
19 世紀後半



〈五感の寓意「聴覚」〉
19 世紀後半



〈花飾朝食用セルヴィス〉
19 世紀後半